

特定外来生物!

オオキンケイギクの 駆除にご協力ください

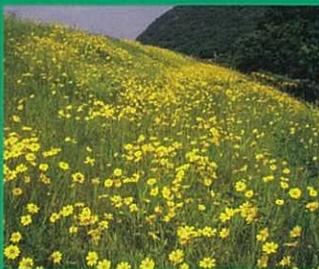
近年、松本市の
河川に増殖中!!



特定外来生物とは

特定外来生物とは、人の手により直接的・間接的に導入された外来種の中でも、その地域の生態系や農林水産業に大きな影響を与えます。特定外来生物は「外来生物法」により、輸入や飼養等が規制されています。

全体の特徴



- ・高さは30cm～70cm程度で、5月～7月に開花時期を迎える。
- ・ワイルドフラワーと呼ばれ、繁殖力、生命力があるため、駆除には長い時間がかかる。
- ・土壌に発芽能力のある種子の集団を形成※土壌の種子の生存期間は2～13年

花の特徴



- ・黄橙色で、品種によっては根元部分が紫褐色のものもあり先が4回～5回不規則に分かれている。
- ・直径は約5cm～7cm程。八重咲きの品種もある。

葉の特徴



開花時期(春～秋)



ロゼット(冬)

- ・楕円形 ・両面に細かい毛が生えている。
- ・葉の周りになめらかでギザギザした葉はない。
- ・冬はロゼットになり、越冬する。

オオキンケイギクの生活史

開花

5月～7月

駆除の効果が一番大きいのは結実前の5月～6月!

結実

6月～11月

9月頃から土壌に種子を落とす!

ロゼット状になり越冬

11月～4月

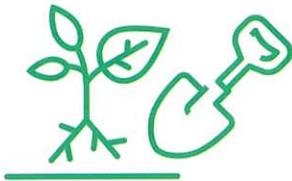
4月の初めには土壌の種子が発芽・成長する!

オオキンケイギクの駆除方法

皆様のご協力が
必要です!!

根絶を目指すならこの方法!

抜き取り駆除



成長の初期段階や軟らかい土壌に生育する場合に
手・スコップ・根掘りを用いて行う。

- 個体そのものを駆除でき、効果が大きい。
- オオキンケイギクのみを駆除できる。



間違えないように
気をつけよう
オオキンケイギクに
よく似ている植物

キバナコスモス

特徴

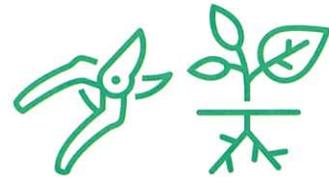
- ・開花時期は主に秋頃、舌状花と葉がより複雑に裂けている。
- ・よく似ているため、特に秋頃の草刈りでは注意。

写真:小出可能(一般財団法人 自然環境研究センター)



成長を抑えるならこの方法!

刈り取り駆除



刈り払い機等を用いて行う方法。結実前に3回を
毎年継続して行うとより効果的。

- 最小限の人手で行うことができる。
- 継続することで抑制の効果がある。

- × 他の植物と一緒に刈り取ってしまう恐れがある。
- × 根が残ってしまうので根絶は難しい。

駆除後の対応

1 オオキンケイギクの
抜き取り・刈り取り

2 密閉できる袋に入れて
枯死させる
(町会での清掃に限り、
袋をお配りしています。)

3 ごみステーションへ運ぶ
(ごみステーションに入らない場合は
邪魔にならないようまとめ、「実施結果
報告兼収集依頼書」にて場所をお知らせ
ください。)

注意



※清掃場所から収集場所までに種や花、茎、根を落とさないようにしましょう。

※外来生物法により生きている状態での運搬は禁止されています。オオキンケイギクを運ぶ際はしっかりと枯死させてから運搬するようにしましょう。

※外来生物法では、罰則も定められています。きれいだからと言って持ち帰ったり、栽培したりすると、禁固や罰金の罰則が科せられます。

出典

環境省ホームページ：https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html#toku_syoku

自然環境研究センター：<http://www.jwrc.or.jp/>

製作: 松本市河川をきれいにする会連絡協議会

<事務局> 松本市環境エネルギー部環境保全課

0263-34-3024

E-mail: kankyo-k@city.matsumoto.lg.jp